

令和5年度意見交換会の報告

国土交通省道路局、地方整備局等との意見交換会

PC建協では、6月9日に国土交通省道路局、7月から11月にかけて、各地方整備局、北海道開発局、及び沖縄総合事務局と意見交換会を行いました。今年度はすべての場所で対面形式にて開催することができました。次の5テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

1. 年度工事量の安定的な確保

各地域の年度工事量の安定化は、計画的経営や雇用の安定を図るうえで極めて重要だと認識しているとの回答があった。

また、次世代に「技術」と「夢」をつなげる新規プロジェクトの創生の要望に対し、強靱で信頼性の高い国土幹線道路ネットワークの構築を推進するとの回答があった。

2. 働き方改革の推進

週休2日工事を発注者指定型でほぼすべての整備局等が発注しており、

今後取組みを推進していくとの回答があった。また、総労働時間の削減に向け、建設現場での生産性向上の施策の推進を図っていくとの回答があった。

技能労働者の処遇改善では、建設キャリアアップシステム(CCUS)モデル工事の発注を要望し、適用工事の拡大及び推進を図っていくとの回答があった。

3. 生産性向上の推進

生産性向上のためにはプレキャスト化の推進は重要であるとの認識のもと、設計段階から取り組んでいくなどの回答があった。

CO₂削減効果の高いプレキャスト部材の利用については、実施済みの整備局もあるが、利用促進に向け取り組んでいくとの回答があった。

また、令和5年度からの「BIM/CIMの原則適用」を踏まえ、引き続き三者協議等を活用し、スムーズなデータの受け渡しに努めていくとの回答があった。

4. PC橋の長期保全の推進

PC橋補修工事における技術提案・

交渉方式のさらなる発注要請に対し、既にECI方式での発注実績もあるが、今後も導入を検討していくとの回答が多かった。

地方自治体支援として直轄代行業務のさらなる推進の要望に対し、今後も道路メンテナンス会議などで地方自治体と意見交換を行い、さらなる推進に努めるとの回答が多くあった。

5. PC建築(PCaPC造の建築)の推進

庁舎計画へのPCaPC造の建築の推進の要望に対し、建物の特性、コスト等を総合的に判断し、積極的に採用している。今後も生産性向上に

向け活用を検討していくとの回答があった。

また防災施設へのPCaPC造の推進の要望では、地方自治体との会議を通じて積極的に働きかけるとの回答があった。

高速道路株式会社との意見交換会

PC建協では、9月に西日本高速道路(株)、11月に中日本高速道路(株)との意見交換会を行いました。いずれも対面形式での開催です。

PC建協からは次の3テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

1. 年度工事量の安定的な確保

各地域の年度工事量の安定的な確保について要望に対し、今後の新設事業や4・6車線化事業計画が示された。特に橋梁の床版取替工事等の特定更新事業については、継続して相当数の工事発注を計画しているとの回答があった。

2. 働き方改革の推進

週休2日工事の完全実施の取組みについては、新規発注工事は発注者指定型の週休2日工事を導入済みであり、導入前の既契約工事においても、すべての工事で協議を行い、変更契約



▲意見交換会の様子

を推進していくとの回答であった。

総労働時間の削減に関しては、工事関係書類の簡素化や遠隔現場の導入などにより施工の省力化及び施工管理業務の合理化を推進していくとの回答があった。

3. 生産性向上の推進

プレキャスト化については、生産性向上に重要であること、また、安全性の向上に期待できるものとして今後も推進していくとの回答であった。また、カーボンニュートラル貢献に繋がる混和材の利用については、既に採用実績も多数あり、環境面への影響の検証を進めながら今後も推進していくとの回答であった。

ICT活用については、受発注者の業務の効率化にさらに取り組んでいくとの回答であった。

令和5年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」

令和5年11月21日に東京都文京区の文京シビックホールで令和5年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）」の顕彰式典が開催されました。

今回は建設マスターに459人、建設ジュニアマスターに121人が受賞されました。PC建協からは建設マスターを4人、建設ジュニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。

顕彰者は次のとおりです。

【建設マスター】

(株)安田建設 田端直幸氏
 (有)創 玉城優二氏
 (株)ジュントス 岩下智則氏
 (株)亀田組 津田高徳氏

【建設ジュニアマスター】

KITAGAWA(株) 難波龍亮氏
 (株)楠田興業 宮永一志氏

第2回建設人材育成優良企業表彰

令和5年10月24日に「第2回建設人材育成優良企業」が発表され、川田建設(株)が「国土交通省不動産・建設経済局長賞」を受賞しました。これは建設業の担い手の確保および育成に積極的に取り組んだ企業を対象とし、国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が表彰する制度です。

今回は令和5年12月18日に国土交通省中央合同庁舎で表彰状伝達式が開催されました。

「第27回世界道路会議PIARC C2023プラハ大会」に出展

令和5年10月2日〜6日の5日間、チェコ共和国の首都プラハにて、世界道路協会(PIARC)主催の「第27回世界道路会議」が開催されました。本会議は4年に1度開催され、今回は約6000人の参加がありました。

日本パビリオン内に出席したPC建協ブースでは、PC建協が取り組んでいる3つの基本方針「CO₂排出量の削減」「プレキャスト部材の利用促進」「自然・再生エネルギーに関する社会資本整備への貢献」に重点をおいた技術や活動のパネルを展示しました。また、会員各社の国内施工実績をアピールする動画配信や、展示パネルの詳細を詳細に示したパンフレットを配布しました。



▲日本パビリオンの様子

第35回日本道路会議にて共同研究成果を発表

令和5年11月1日〜2日に東京都千代田区の都市センターホテルで「第35回日本道路会議(主催：(公社)日本道路協会)」が開催されました。同会議は隔年で行われ、今回のテーマは「頻発する災害から国民を守り、次世代の多様な価値に込める道路」国土強靱化10年、DX、GX時代からその先へ」でした。

PC建協は「般論文・事例報告発表口頭発表」において、国土技術政策総合研究所・土木研究所と共同研究していた「プレテンションPC床版橋の横締めPC鋼材破断に対する研究」に関する研究成果を発表しました。

令和5年度道路功労者表彰

道路整備事業や道路愛護・美化保全などに推進・尽力した団体・個人を対象とする「令和5年度道路功労者(主催：(公社)日本道路協会)」に、PC建協が推薦した3人が表彰されました。

(株)富士ピー・エス 富永 聡氏
 川田建設(株) 阿久津 豊氏
 三井住友建設(株) 高山 久聖氏

PC技術専門家を派遣

PC建協では学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的に各地区でPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(関西支部)

令和5年10月2日に関西大学工学部都市システム工学科の3年生37人を対象に「プレストレスト・コンクリート特別講義」と題した授業を実施しました。

講義ではPC構造の概要やPC橋の設計演習を行いました。また神鋼鋼線工業(株)によるPC緊張の動画も紹介し、好評を得ました。



▲ 関西大学での講義の様子

(中国支部)

令和5年10月16日と23日の2回にわたり山口大学工学部社会建設工学科の3年生を対象に「複合構造工学II PC構造の基礎」と題した講義を実施しました。

16日は59人が受講し、PCとは何か、PC技術の歴史などを紹介しました。また23日は55人が受講し、PCの構造と種類をより詳しく説明し、実際にPC鋼材、PC板、橋梁模型を使用し、体験学習を行いました。学生から多くの質問を受けPCに興味を持ってもらう良い機会となりました。



▲ 山口大学での講義の様子

(九州支部)

令和5年10月17日に鹿児島大学工学部先進工学科海洋土木工学プログラムの3年生22人を対象に「PCの概要と設計・施工について」と題した講義を実施しました。

講義ではPCの概要とPC建造物の紹介、PC橋の施工と設計をそれぞれ解説した後、演習問題を出しました。

令和5年10月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名
10月11日	関東	芝浦工業大学工学部
11月9日	関東	早稲田大学理工学部
11月16日	北陸	新潟大学工学部
11月17日	九州	福岡大学工学部
11月18日	関東	前橋工科大学工学部
11月22日	関東	木更津工業高等専門学校
11月22日	中国	米子工業高等専門学校
11月29日	関東	東京理科大学理工学部
11月30日	北陸	富山県立大学

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(北海道支部)

令和5年11月2日に「令和5年度技術講習会(主催：PC建協(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部)」を開催しました。今回は若手から中堅の会員42人が受講しました。

講習会ではPC橋の設計、架設、維持管理に関する基礎知識を解説しました。

(東北支部)

令和5年8月22日に宮城県仙台市青葉区の東北地方整備局での「PC橋におけるDXの取り組みに関する勉強会(主催：東北地方整備局道路部道路工事課)」において、会場とオンラインを合わせて39人の職員などに対して、PC建協のICT活用促進の概要を説明しました。

説明の内容は国道45号の有家川橋などにおける出来形全自動検束システムとその他のDX技術の取り組み、成瀬ダム国道付替2号橋におけるICTを活用した水冷式パイプクーリング、自動散水システムなどでした。

(関西支部)

令和5年10月17日に兵庫県神戸市中央区の兵庫県民会館 パルテホールでの「令和5年度PC橋に関する技術講習会(主催：(公財)兵庫県まちづくり技術センター)」において自治体

職員など74人(会場受講者45人、オンライン受講者29人)に対して講師を務めました。

講習会は基礎知識の習得、監督員としての実務能力の向上を目的とし、PC橋の基本と橋梁形式、PC橋設計照査における着眼点などを解説しました。

(四国支部)

令和5年9月8日、13日、22日、26日の4日間、徳島、香川、高知、愛媛の四県で「三協会合同技術講習会(主催・(一社)建設コンサルタンツ協会 四国支部、PC建協、(一社)日本橋梁建設協会)」を開催しました。講習会には各会員企業の技術者など計143人が受講しました。

PC建協は、PCアシスタントの紹介、及びPCコンポ橋の平成29年道路橋示方書の対応について解説しました。

その他、令和5年8月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおりです。

開催日	支部名	講習名	主催・共催	人数
8月24日	東北	令和5年度土木技術専門研修(橋梁/施工[初級])	(公財)岩手県土木技術振興協会	23人
8月24日	関東	橋梁技術講習会	山梨県県土整備部道路整備課	51人
8月25日	中国	令和5年度第12回土木技術講習会	(公財)島根県建設技術センター	92人
9月5日	関東	橋梁(PC橋)講座	長野県建設技術センター	36人
9月7日	東北	令和5年度橋梁技術研修(鋼橋・PC橋編)	主催:山形県、(一社)山形県測量設計業協会 共催:(公財)山形県建設技術センター、山形県建設コンサルタンツ協会、山形県道路メンテナンス会議	167人
9月7・8日	九州	道路構造物管理実務者研修(橋梁初級II)研修	九州地方整備局	20人
9月13日	中国	令和5年度鳥取県土木技術講習会	(公財)鳥取県建設技術センター	81人
9月22日	中部	構造土質委員会WEB技術講習会	(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部	121人
10月3日	関東	栃木県技術講習会	(公財)とちぎ建設技術センター	16人
10月6日	北陸	PC橋の施工技術と維持保全に対する実務講習会	PC建協北陸支部	24人
10月11日	東北	令和5年度道路構造物技術セミナー	東北地方整備局	84人
10月11日	関東	埼玉県技術講習会	埼玉県県土整備部道路街路課	84人
10月20日	中国	令和5年度橋梁勉強会	中国地方整備局道路部	31人
11月7日	関東	(埼玉)技術講習会	(一社)橋梁メンテナンス協会	35人
11月7日	北陸	わかりやすいPC橋の施工技術研究会(金沢)	PC建協北陸支部	11人
11月21日	北陸	わかりやすいPC橋の施工技術研究会(新潟)	PC建協北陸支部	11人
11月27日 ~12月8日	中国	令和5年度PC技術講習会	(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、PC建協中国支部	77人

建設技術展示会に出展

(中国支部)

令和5年10月24日と25日の2日間、広島市南区の県立広島産業会館東展示館で、産官学46団体で構成され、PC建協も実行委員として参画した「建設技術フォーラム2023 in ちゅうごく(主催・建設技術フォーラム実行委員会)」が開催されました。PC建協はブース出展し、「進化するPC技術と社会への貢献」社会インフラの整備拡充および人々の生活を豊かにする技術を開発する」を掲げ、PC分野のICT活用と更新技術などを紹介しました。



▲PC建協のブースの様子

第4回北陸橋梁保全会議に 出席

(北陸支部)

令和5年10月30日と31日の2日間、新潟市中央区の新潟グランドホテルで「第4回北陸橋梁保全会議（主催：北陸橋梁保全会議実行委員会（北陸地方整備局、PC建協など）」が開かれました。今回は951人が来場しました。この会議は橋梁保全の技術向上と情報交換などを目的に産官学連携で3年に1度開かれています。

PC建協はブース出展に加え、「橋梁保全の課題と今後の展望」と題したパネルディスカッションに参加し、パネラーとしてPCに関するさまざまな情報を紹介しました。



▲ パネルディスカッションの様子

現場見学会開催

現場見学会が各地で開催されました。

(北海道支部)

令和5年10月12日に北海道新冠町の日高自動車道新冠町大節婦川橋上部工事の工事現場で現場見学会を実施しました。参加者は、北海道土木技術会コンクリート研究委員会、ダム工学会北海道ブロック、PC建協北海道支部会企業職員、および北海道科学工科大学都市環境学科1年生の計79人です。

本橋は日高自動車道厚賀静内道路の一部で、橋長335.4mのPC5径間連続ラーメン橋（片持架設工法／西工事…大成建設㈱、中央工事…日本高圧コンクリート㈱、東工事…(株)日本ピーエス）です。

当日はまず施工中の大節婦川橋と橋体完成後の節婦川橋とを比較見学しました。続いて片持架設工法の基礎知識、および平取町の二風谷ダムに関する基礎知識と特長を講義しました。講義では工学を学んでいく学生の見識向上を願い、建設業が社会インフラ整備の重要性和安心・安全を提供する大切な職業であることを伝えました。

(関東支部)

令和5年10月4日に神奈川県川崎市川崎区の川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁上部工事（その3）の工事現場で神奈川県建設業協会主催の現場見学会を実施しました。当日は県や市町村、関係団体の協力会員18人が参加しました。

本橋は東扇島側のMP1橋脚とMP3橋脚間（施工延長170m）のPC2径間連続箱桁橋（片持架設工法／三井住友・みらい・日本ピーエスJV）です。施工中の橋梁上部工事の中では、関東で最大級の規模で、複数の参加者からは「貴重な体験ができた」という声がありました。



▲ 川崎港臨港道路見学会での座学の様子

(中部支部)

令和5年11月29日に愛知県設楽町の設楽ダム国道257号4号橋PC上部工事の工事現場で、（二社）建設コンサルタンツ協会中部支部の構造土質検討グループ29人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋は橋長357mのPC3径間連続ラーメン箱桁橋（片持架設工法／(株)安部日鋼工業）です。

その他

【北海道】

● 9月28日 日本高圧コンクリート(株)栗山工場
PC建協 29人

【関東】

● 10月3日 (株)富士ピー・エス関東工場
栃木土木事務所他 16人

● 11月28日 東関東自動車道工事現場
建設コンサルタンツ協会関東支部加盟会社 35人

● 11月29日 小山川橋工事現場
前橋工科大学社会環境工学科3年生 44人

【北陸】

● 10月17日 寺家高架橋工事現場
石川県内建設コンサルタント 35人

第32回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウムに出展

「第32回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム(主催：(公社)PC工学会、後援：PC建協)」が令和5年10月26日と27日の2日間、福島県郡山市のビッグパレットふくしま(福島県産業交流館)で開催されました。PC建協のブースでは、東北地方のPC主要事業のパネル展示やモニター上映を行い、多数の来訪がありました。



▲PC建協ブースの様子

全国から開通情報

(北陸支部)

新潟県道川谷十町歩線「河沢工区」、全線開通

令和5年8月6日に新潟県の県道川谷十町歩線の「河沢工区(総延長480m)」が全線開通しました。これにより道路の幅員が従来の5mから8mに拡張されました。

新八幡橋で催された開通式典では、地元関係者など約50人が出席し、テープカットなどで開通を祝いました。



▲八幡橋での開通式典

(九州支部)

佐伯市道小半線「中岳橋」、開通

令和5年10月6日に大分県佐伯市の市道小半線「中岳橋(橋長164m)」が開通しました。

同橋は、小半鍾乳洞上の法面の崩壊によって、直下の市道が通行不可となったことから、県道三重弥生線へ通じるバイパスとして新たに設けられたものです。

当日は中岳橋で地元関係者によるテープカットが行われ、今回の開通を祝いました。

その他

【関東】

● 栃木県宇都宮市 芳賀・宇都宮LRT

● 埼玉県・千葉県・埼玉県道路公社 三郷流山橋有料道路

【北陸】

● 石川県 国道415号羽昨バイパス2期区間

【中部】

● 三重県 国道23号中勢バイパス鈴鹿(安塚)工区

【九州】

● 長崎県 国道57号森山拡幅(森山東IC)森山西IC

編集委員会

荒瀬 美和 (編集委員長)、石井 一生 (副委員長)、吉山 誠之 (副委員長)、湯山 芳夫、照井 満、鈴木 裕二、八木橋 浩隆、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集幹事会

荒畑 智志 (幹事長)、小谷 仁 (副幹事長)、瀬戸 裕一郎 (副幹事長)、阪田 憲一、青木 隆昌、河野 雅弘、武藤 浩美、喜多 俊介、木村 良輔、浅野 真人、勝野 源基、中田 清博、苅部 秀次、高野 将成、武内 涼太郎、能島 潮

編集後記

今回は、NHK大河ドラマ『光る君へ』の舞台となる京都と滋賀に行ってきました。紫式部や源氏物語のゆかりの地を中心に訪れ、その土地の歴史・文化にふれてきました。旅の後半は、信楽地方まで足をのびして我が国初の本格的なPC鉄道橋である「第一大戸川橋梁」を紹介しています。

特別企画では、Vision2023の編さんに携わった委員の方々に座談会形式で苦勞した点や工夫した点についてお話しを伺いました。

PCニュースでは、令和5年10月2日～6日にチェコ共和国の首都プラハにて催された「第27回世界道路会議」において、日本パビリオン内に出展したPC建協ブースの展示内容について紹介しています。

今後も、さまざまな話題を取り上げ、少しでもPC建協の活動に興味をもってもらえるように、一生懸命、取り組んで参りたいと思います。(浅野)